

NEWSWAVE

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

発行
(株)常陽経営コンサルタンツ
〒973-8408
福島県いわき市内郷高坂町砂子田94 番地
TEL0246-27-9110 FAX0246-27-9118

ムーミンの森、埼玉県の救世主なるか 本社所在地以外の工場受入れは首位

埼玉県は観光客や修学旅行生の来県数が全国ワーストクラスだが、県外からの工場進出や野菜出荷量では全国トップクラス。東南アジアへの日本酒輸出も多く、そのノウハウを学ぶ県外蔵元が多いそう。県庁サイドは東京五輪を控え競技会場に一部施設が決定しているだけに、今から観光客等の集客アップ策に決定打を見いだせない焦りもある。そこへ降ってわいたように飯能市の宮沢湖周辺にフィンランドの人気童話「ムーミン」を主題にしたテーマパーク「メッツア」（森の意味）を 2017 年にオープンすると投資会社が発表した。

約 18 万 7000 m²のレクリエーション施設を西武鉄道から 6 億円で取得する。東京ドームの約

4.5 倍の面積で、ムーミンのテーマパークはフィンランド以外では初めてという“惹句”が売리だ。

西武鉄道はやっと再上場にこぎ付け、雌伏 10 年の「縛り」から埼玉西部地方に輝きを取り戻したい意地がある。県・テーマパーク・鉄道の三味一体のマーケティングが効奏するかが鍵。本社所在地外の都道府県からの工場受け入れは、埼玉県の立地条件等を他県が羨むほどだ。埼玉県が 2756 件で最多。上位の千葉県 1780 件、茨城県 1628 件を大きく上回る。すでにホンダ寄居工場やグリコの集配センターは稼働中だ。埼玉県の好立地とは東北への玄関となり東京に近い。次に道路混雑で首都圏迂回が始まり、埼玉拠点で物流効率が飛躍的に高まっている。

査察の脱税総額は約 150 億円と低水準 検察庁への告発率も 62.2%と低い割合

国税庁がこのほど公表した 2014 年度査察白書によると、査察で摘発した脱税事件は前年度より 9 件多い 194 件、脱税総額は 39 年ぶりの低水準だった前年度を 3.6%上回る約 145 億円となった。

今年 3 月までの 1 年間（2014 年度）に、全国の国税局が査察に着手した件数は 194 件と、前年度を 9 件上回った。継続事案を含む 180 件（前年度 185 件）を処理（検察庁への告発の可否を最終的に判断）し、うち 62.2%（同 63.8%）に当たる 112 件（同 118 件）を検察庁に告発した。この告発率 62.2%は、前年度から 1.6 ポイント減少し、38 年ぶりの低水準だった 2011 年度（61.9%）に次ぐ低い割合だった。

告発事件のうち、脱税額が 3 億円以上のものは前年度より 2 件多い 6 件にとどまった。近年、脱税額 3 億円以上の大型事案が減少傾向にあり、2014 年度の脱税総額 150 億円は、ピークの 1988 年度（714 億円）の約 21%にまで減少している。告発分の脱税総額は前年度を約 6 億円上回る約 123 億円、1 件当たり平均の脱税額は 1 億 1000 万円と、35 年ぶりに 1 億円を下回った前年度を 1100 万円上回った。

告発件数の多かった業種・取引（5 件以上）は、「不動産業」が 16 件でトップ、次いで「クラブ・バー」が 10 件、「建設業」が 8 件、「運送業」と「広告業」が各 4 件で続く。「不動産業」では、売上除外や核の経費を計上していたもの、「クラブ・バー」では、ホステス報酬に係る源泉所得税を徴収していながら未納付だったものが多い。